MAM-794　AZF8　2016年6月1日発行

LIXIL

把手セット(レバー)

取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

※商品により、シリンダー形状、ハンドル形状、オーナーキーの有無は異なる場合があります。

■梱包明細表

※取付け前に必ず梱包内容をご確認ください。

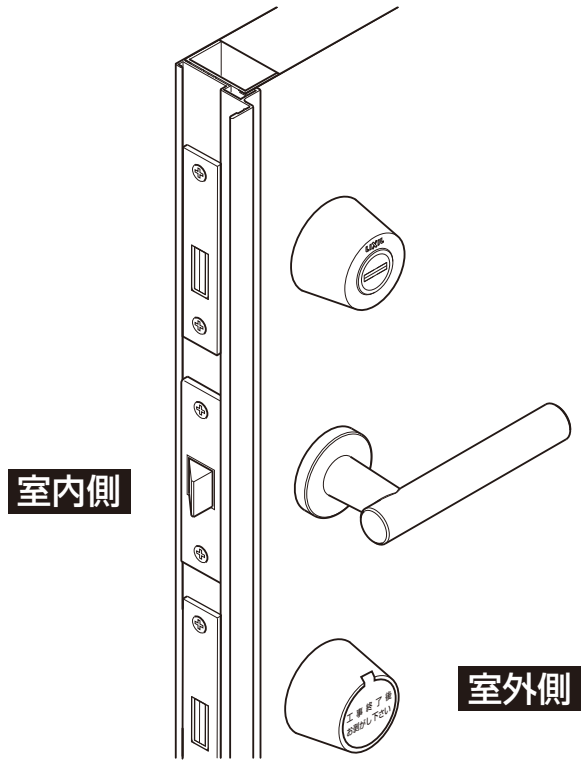
■把手セット

名　称	入　数	詳　細
室外側レバーハンドル	1個	―――
室内側レバーハンドル	1個	ナベ小ねじM4×20／2本
外側台座	1個	―――
内側台座	1個	―――
台座カバー	2個	―――
箱錠セット	1セット	箱錠／2個、ラッチ箱錠／1個、皿小ねじM4×16／6本(鋼板ドア用)、皿タッピンねじφ4×12／6本(アルミドア用)
シリンダーセット(別途手配)	1セット	シリンダー／2個、オーナーキー／1本、子鍵／4本、工事用キー(コンストラクションキー) ／3本
サムターン・セキュリティサムターンセット *1	1セット	サムターン／1個、トラス小ねじM5×45／2本(頭部塗装付き)、セキュリティサムターン／1個、サムターンキー／2本、サムターン座／1個、トラス小ねじM5×45／2本(頭部塗装なし)
取付け説明書	1枚	―――
お施主さま用取扱い説明書	1冊	袋入り

*1 エントリーシステムの場合は、「サムターン・セキュリティサムターンセット」は梱包されません。別途手配品エントリーセットに電動サムターンが梱包されています。防火戸シリーズの場合、セキュリティサムターンセットが2セットになります。

■取付け完成図

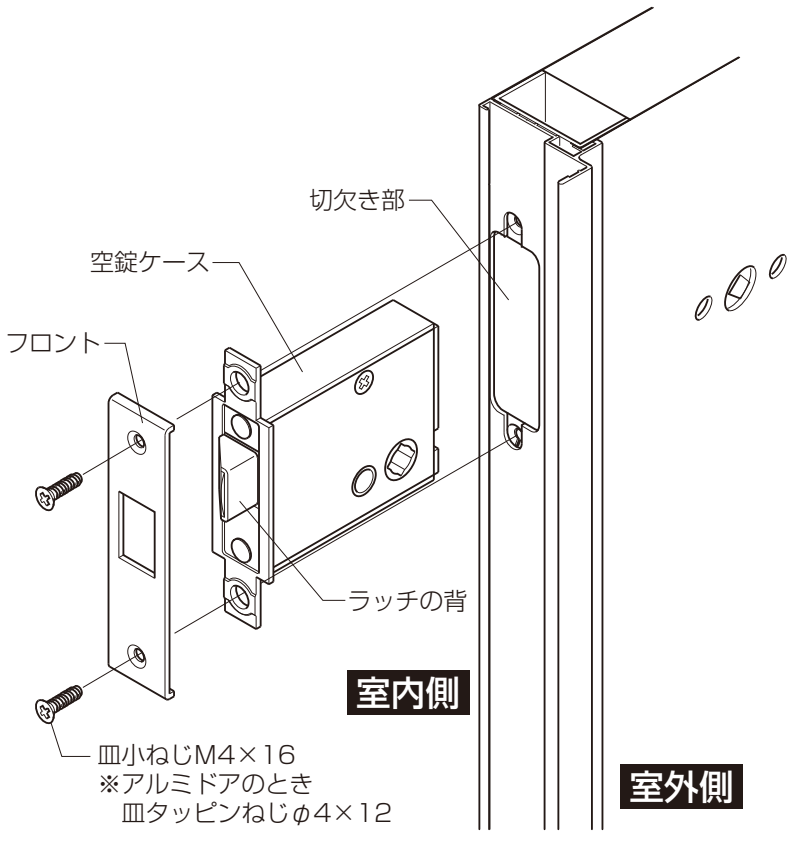
【レバーハンドル／室内側】



■取付け順序

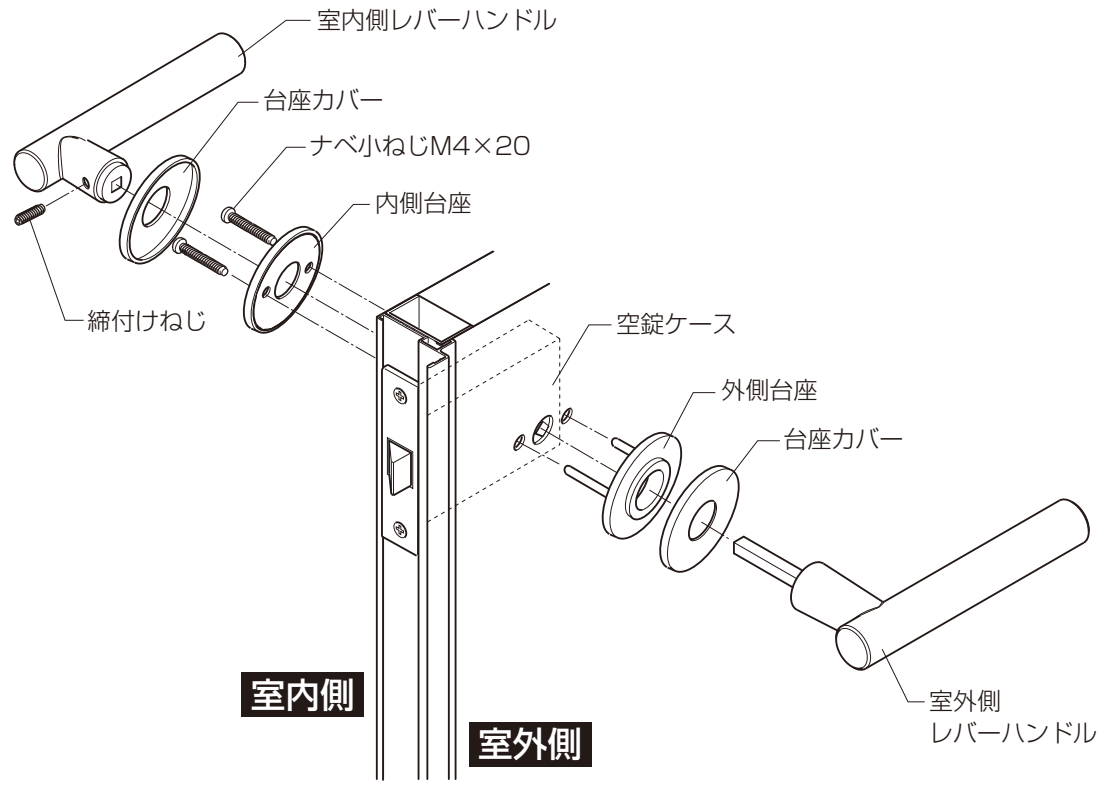
1 ラッチ箱錠の取付け

●ラッチの背を室外側に向け、空錠ケースを切欠きに合わせて挿入し、皿小ねじでフロントと空錠ケースを取付けます。
(アルミドアのとき皿タッピンねじ)



2 把手の取付け

①外側台座を室外側から差込みます。
②内側台座を、ナベ小ねじで外側台座に取付けます。
③台座の上から、台座カバーを取付けます。
④レバーハンドルを室内外から差込み、締付けねじで固定します。



3 箱錠の取付け

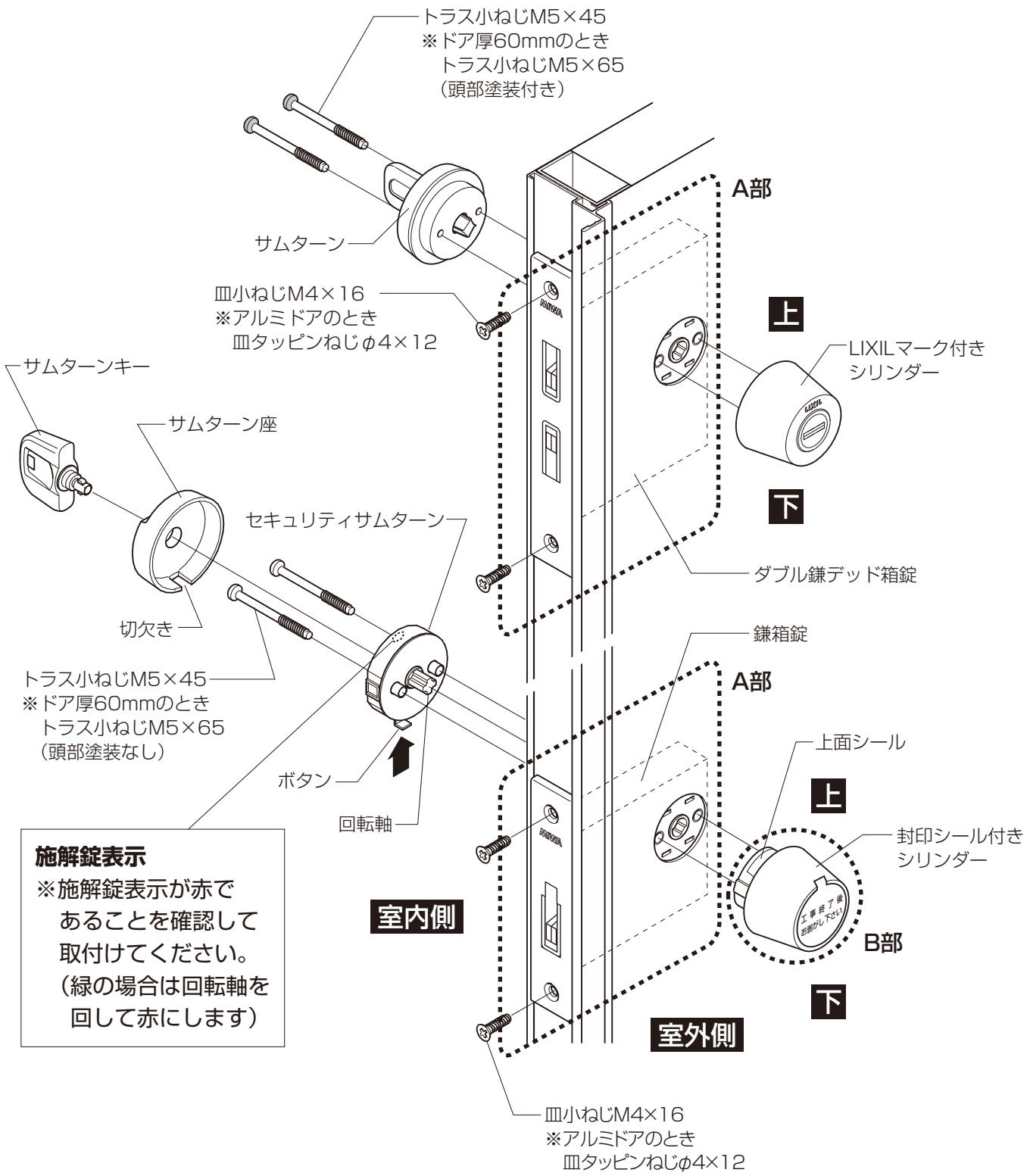
①ドア上部の切欠き部に、ダブル鎌デッド箱錠を皿小ねじ(アルミドアのとき皿タッピンねじ)で取付けます。
※側面の矢印に従い、上下を確認して取付けてください。(下図「箱錠の取付け向き」参照)
※商品により、鎌箱錠を使用する場合があります。
②ドア下部の切欠き部に、鎌箱錠を皿小ねじ(アルミドアのとき皿タッピンねじ)で取付けます。
※鎌箱錠は「MIWAマーク」を上にして取付けてください。(下図「箱錠の取付け向き」参照)

4 上部シリンダー、サムターンの取付け

①LIXILマーク付きシリンダーのLIXILマークを上に向けます。
②LIXILマーク付きシリンダーの出っ張り(4ヵ所)を、ダブル鎌デッド箱錠(上部箱錠)の角穴に合わせて差込みます。
③サムターンをトラス小ねじでLIXILマーク付きシリンダーに取付けます。
※防火戸シリーズの場合、上下共にセキュリティサムターンを取付けてください。(5参照)

5 下部シリンダー、サムターンの取付け

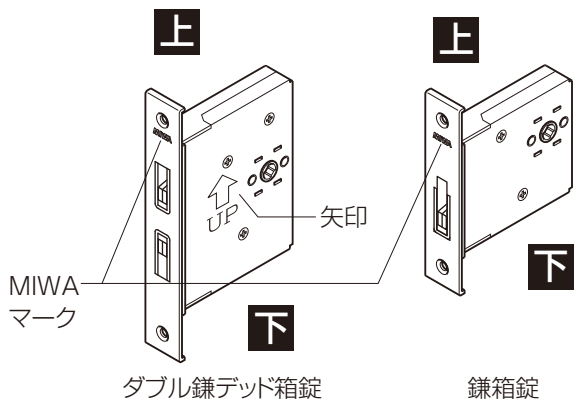
①封印シール付きシリンダーの上面シールを上に向けます。
※上面シールがない場合は、シリンダーカバーの切欠きを下に向けてください。(下図「シリンダーの取付け向き」参照)
②封印シール付きシリンダーの出っ張り(4ヵ所)を鎌箱錠(下部箱錠)の角穴に合わせて差込みます。
③セキュリティサムターンのボタンを下に向け、トラス小ねじで封印シール付きシリンダーに取付けます。
④サムターン座の切欠きを、セキュリティサムターンのボタンの向きに合わせてはめ込みます。
⑤ボタンを上に押上げながら、サムターンキーを差込みます。(ボタンが戻るとサムターンキーは抜けなくなります。)



※電動サムターンの取付け方法は、エントリーセットに同梱の取付け説明書をご参照ください。

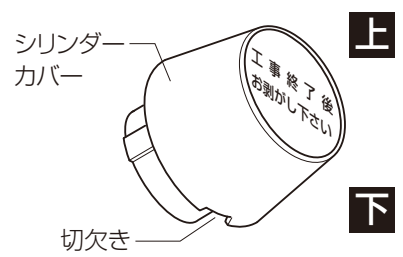
■箱錠の取付け向き(A部詳細図)

※MIWAマークの位置、または側面の矢印で上下を確認して取付けてください。



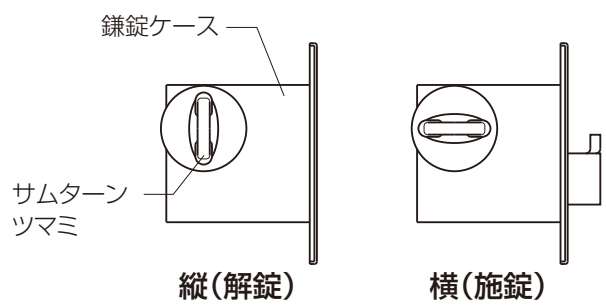
■シリンダーの取付け向き(B部詳細図)

※上面シールが張られていない場合は、シリンダーカバーの切欠きを下に向けて取付けてください。



■サムターンツマミの操作

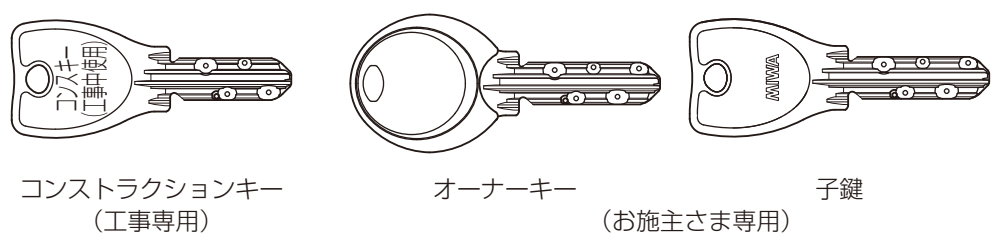
※サムターンツマミは縦にして取付けてください。



※セキュリティサムターンは施解錠表示が、解錠時「赤」、施錠時「緑」になります。

■コンストラクション装置について

●封印シールが張られていないシリンダーには、コンストラクション装置が組込まれています。施工の際は、工事専用のコンストラクションキーをご使用ください。施工後、お施主さま専用キーを使用するとコンストラクション装置が解除され、以後はお施主さま専用キーでなければ開閉できません。
●封印シールが張られているシリンダーには、コンストラクション装置が組込まれていません。



コンストラクションキー(工事専用)　オーナーキー　子鍵(お施主さま専用)